

対島中学校 第1回学校運営協議会会議録

- 1 日時 令和6年4月23日(火) 午後1時00分～午後3時10分
- 2 場所 伊東市立対島中学校図書室
- 3 出席者 宮川 正生(八幡野区長) 日吉 基史(学識者)
畑田 朋範(コーディネーター) 田畑 朝恵(コーディネーター)
佐藤あん奈(家庭教育委員) 佐藤 周(PTA会長)
荒井 威雄(校長)
*高橋 義典(池区長)、和田 元気(地域住民)、佐藤 功次郎(地域住民)は欠席
- 4 事務局 木村 誠(教頭) 井戸 寛(教務主任)
- 5 会議の経過
 - (1) 委嘱状の確認
 - (2) 校長挨拶
 - ・コミュニティ・スクールについて(県教育委員会が作成したパンフレットを基に説明)
 - コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことをいい、学校運営協議会には次の3つの役割がある。
 - ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
 - ②学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べることができる。
 - ③教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べることができる。例えば、男性(女性)教諭の数を増やしてほしい、英語教育に力を入れているので、指導力のある教員を配置してほしい など。
 - ・地域学校協働本部について
 - これまでも様々な団体が学校に協力してくださっていたが、個々の団体が個別に動いていることが多かった。これからはコーディネーターの力を借りて、各団体同士や学校がうまくつながるようにしていく。
 - (3) 開会通告(事務局)
 - (4) 委員紹介(名簿にそって、教頭より紹介)
委員の紹介後、校長より、地域コーディネーターの[]様にも学校運営協議会に参加して欲しいとの提案がなされ、承認された。

(5) 会長・副会長選出

事務局：伊東市立小中学校運営協議会規則第11条協議会により、会長及び副会長を置き、委員の互選により選出するとあるが、自薦、他薦をお願いしたい。

委員：PTA会長の経験があり、昨年度も本会の会長を務めて頂いた和田さんが適任だと考える。

※挙手多数により、承認。

事務局：続いて副会長の選出を行う。自薦、他薦をお願いしたい。

委員：PTA会長の佐藤委員をお願いしたい。

※全員が賛成し、佐藤委員にも承諾いただく。

(6) 議事

事務局：規則第11条の2により議事進行は会長をお願いしたい。本日会長が欠席のため、どなたかに進行をお願いしたい。

※委員が挙手し、司会を引き受ける。

委員：協議事項、令和6年度学校経営方針について

校長：配布資料にある、自己評価・学校関係者評価の評価項目は、グランドデザインにそっている。今年度、グランドデザインを大きく変えた。社会の状況がこれまでと変わってきており、今の仕事の4割が将来はなくなると言われるなど、予測不可能な社会が待っている。対島中の生徒の現状として、まじめで、言われたことは素直に取り組むが、自分たちから動き出す力が弱い。予測不可能な時代を生き抜くことを見据え、学校教育目標「自信と誇りを持ち、未来へ伸びる生徒」を達成するために、今年度は「自分から」というキーワードを掲げた。そして授業と自治的な活動を今年度の2本柱とし、豊かな心、地域や家庭との連携、健康な体や安全な環境を2本柱を支える土台として設定した。さらに学校生活の基盤となるよう、対中スタンダード「時を守り、場を清め、礼を正す」を設定し、小中共通で身につけていくことにした。

授業を柱にした理由は、一日のほとんどが授業だからである。生徒が「わかった」「できた」「やってみたい」「おもしろい」と思うよう、授業改善を進めていく。教員同士で授業を見合うことや、タブレットの活用をさらに進めるなどしていく。

自治的な活動を柱にした理由は、将来社会で生きていく準備のためである。中学校の中で社会というと学級や班である。そこで学級をよりよくしていくことを生徒が考えることにより、将来社会に出ても、社会をよりよくしていこうと考えることを期待している。

対中スタンダードについても補足する。「時を守り」とは、時間を守ることだけ

でなく、そのために急ごうとすること、遅れた時にごめんなさいを言えること、時間を作り出そうとすることを意味している。「場を清め」とは、ロッカーの整理整頓や花のある環境づくりを意味している。ロッカーの整理整頓には、環境委員が主となって活動しようとしているところである。「札を正す」とは、あいさつや公共の場（廊下・階段など）での過ごし方を意味している。あいさつは声を出すことだけでなく、会釈するなど場に応じたあいさつをできるようにしていきたい。

委員：校長より説明があったが、質問や意見がある方はお願いしたい。

委員：授業を見て気になったのがロッカーの使い方。一番上の段も使用していたが、安全面を考慮すると、一番上の段は空けた方がいいのではないかな。一番下の段が空いていたが、そちらを使用することはできないのか。

校長：一番下の段は、今後美術の道具のように、大きなものや幅をとるものを入れていく。2年生は人数が多いので難しいが、可能な限り安全面に配慮したロッカーの使い方をしていきたい。

委員：音楽室後方に楽器がまとめてあり、煩雑な感じがした。どこかに置き場はないのか。

校長：空き教室がなくて困っている。

委員：棚などに綺麗にまとめられるといい。

委員：シートなどをかけて目隠しをしておく方法もあるのではないかな。

委員：楽器が痛まないように置けるといいと思う。

委員：グランドデザインで生徒の強みと弱みがわかりやすい。生徒の現状もまさにその通りと感じる。グランドデザインで掲げたことを達成するのには時間がかかるが、何年での達成を目指しているのか。またその達成までに人事面で問題はないのか。

校長：来年度までの2年間で達成したいことをグランドデザインにまとめた。すべては達成できなくても、土台を作っておけば次につながると考えている。教職員は毎年入れ替わるが、理念を伝えていくので、人事面では問題ないと考えてる。

委員：地域でも協力することがあれば言ってほしい。

委員：学校評価の項目に、地域行事への参加について積極的に促したかとある。地域行事と中学校の行事や部活動が重ならないようにできるといい。大会は仕方ないが、練習であれば、行事の時間を避ける、練習をなしにするなどの方法をとることもできるのではないかな。

校長：各地区の行事を集約できれば教職員に周知していくので、教えてほしい。

委員：中学生は動けるので、地域行事に参加して力を貸してほしい。

委員：コミュニティ・スクールになり、学校と地域で相互にお願いできる関係になっていきたい。

委員：学校評価の項目に、不祥事根絶とある。不祥事を0にすることも大切であるが、小さなうちに芽を摘んでいくとか、気になった時に声をかけるとか、そういったことに力を注いだ方がいいのではないかな。

校長：手立てとして、そちらに力を注いでいく。

委員：不登校についても同様だと思う。不登校0よりも、不登校は起こりうるということを前提に、そのような生徒の居場所作りに尽力してほしい。

校長：不登校の理由は多岐にわたっており、その解消は簡単にはいかないが、少なくともこれ以上不登校生徒が増えないように、対策を講じていきたい。市の施策として今年度から不登校相談員が配置された。同じ人が継続して対応することが大切なので、効果的に活用していきたい。

委員：男女交際のあり方について学校はどのように対応しているのかを教えてほしい。

校長：学校として「あれだめ、これだめ」とは言っていない。気になる場合は、「周りの人はどう思うかな」と問いかけ、客観的に考えるようにしている。頭髪などの場合も同じで、「その髪型で面接に行けるかな」と声をかけている。男女交際の様子で気になる表れがあれば教えてほしい。

委員：規則第4条に協議会の承認を得るものとする とある。校長から示された令和6年度学校経営方針を承認される方は挙手をお願いします。

※挙手多数

委員：挙手多数により承認された。

委員：その他連絡事項について

事務局：対島中でよかったと思える学校づくり協力員募集について、校長より補足する。

校長：昨年度、この会で生け花の先生を紹介していただき、今年度すでに1回開催した。学校では、草刈り、樹木の剪定、花壇の管理などを生徒の委員会活動やPTA奉仕作業で行っているが、手が足りない。図書室の整備も司書と委員会の生徒が行っているが、人手が欲しい。そこで今年度、対島中でよかったと思える学校づくり協力員として募集したいが、どうでしょうか。

委員：外部の方の力を借りるのもよいし、PTAに呼びかけてもよいのではないか。PTA活動が少なくなっているが、中には学校のために活動したいと考えている人もいると思う。また学校や教員からでなく、生徒会や委員会から呼びかけてもよいのではないか。

校長：まず保護者に配布するというのはどうですか。

委員：PTA常任委員会で練ったらどうでしょうか。

校長：6月の常任委員会に出してみます。

事務局：生徒会本部の生徒が七夕に向けてイベントを考えており、笹（竹）を調達したいのですが、何か伝手のある方はいますか。

委員：私が用意します。

事務局：よろしくお願いします。

（7）閉会通告（副会長）